

大分県国東市

活動名

国見中学校区放課後チャレンジ教室

関係する学校

竹田津小学校・伊美小学校・熊毛小学校

活動区分		※ H26 年度の実績（補助の有無については H27 年度の状況）						
基本データ	土曜日の教育活動	コーディネーター数 1人	子供の平均参加人数 10人	開始年度 26年度	国庫補助 有	学習支援 有	ICT活用 無	企業・NPOとの連携 無
	学校支援地域本部	コーディネーター数 1人	ボランティア登録数 46人	開始年度 23年度	国庫補助 有	学習支援 有	ICT活用 無	企業・NPOとの連携 無
	放課後子供教室	コーディネーター数 1人	子供の平均参加人数 18人	年間開催日数 30日	国庫補助 有	学習支援 有	ICT活用 無	企業・NPOとの連携 無
		実施場所 各小学校の余裕教室・公民館					開始年度 23年度	連携型 連携型
コミュニティスクール	指定日					委員数	児童生徒数	学級数

活動の概要・経緯
 平成23年度より市内全小中学校を対象に地域「協育力」向上支援事業の委託を受け、学校・家庭・地域での協働・協育の強化推進のため国見中学校区放課後チャレンジ教室（以下「教室」（学習指導・体験））を展開している。国見中学校区（以下「当校区」）は市内で最も児童数が少なく、高齢化率は市内で最高位に達している。このような状況の中、地域の強みを発揮できる協働・協育の達成を目指してコーディネーターを中心に人材発掘を進めてきた。当校区では昔から「芸術」に対する関心が高く、また手つかずの自然環境に囲まれていることから、陶芸や絵画を始め多くの芸術家が移住しており、結果として、多くの芸術家たちがボランティアとして協力してくれている。

特徴

【特徴的な活動内容】

当校区では芸術に携わるボランティアの方が多く、陶芸家、画家、イラストレーター、表具師、彫師（木・石像）、創作建具師など市内でも特徴的な指導者構成になっている。平均月3回の放課後学習指導では、教員退職者、行政退職者、地域の有志の方が中心となり自身の経験や知識を生かしながら指導することにより、幅広い視野で物事を考えることに一役かっている。また、月1回の体験学習では芸術家としての本職の技術を披露するとともに、子供では思いがけない視点や切り口で助言・体験させることで感性を磨くこともできている。また、当校区では学校の協力が大きく、子供たちの学習の進捗状況にあった教材選択や日頃の子供の様子などを指導者、コーディネーターと連絡を密にし、よりよい運営に努めている。

【実施に当たっての工夫】

教室では、学習・体験の二つの教育機会を柱として、学習面では登録制にし、意欲的に学習に励む児童を対象としているので、質問や意見などを引き出す指導を心がけることにより児童の発言能力の向上も期待している。また、体験面では子供の頃に多くの、そして色々な体験をすることは子供の将来の可能性を引き出す上でとても有効という視点から、登録制ではなく希望者全員を対象にしている。そうすることにより多く児童に自分の特技を発見させ、探究心を芽生えさせる工夫をしている。また、体験の成果（物【作品】）を持ち帰らせることで、家庭での会話が増え、保護者にも教室の理解度が増すように努めている。

事業を実施して

年間40回以上の教室を開催（学習・体験）し、3校児童総数約150名に対し児童参加者延べ数は2,000名を超える。放課後の子供の「居場所」の拠点としての存在感は拡大している。学校に子供が集まり、子供が集まれば大人が集まる好循環の環境整備が進んできている。また、地域の方、保護者の方が学校に集まることにより学校・家庭・地域の相互理解が深まっている。当校区は以前から放課後児童クラブとの連携ができており、より多くの児童たちに、一つでも多く自分の可能性発見の機会を提供できるように計画している。

その他

「学校支援」・・・総合学習の時間に専門的な知識・技術・道具を必要とする授業でゲストティーチャーとして地域人材を活用。

「土曜教室」・・・土曜日の有効な使い方、学習の習慣づけのため年間10回以上開催。

「放課後子ども教室」・・・地域人材を積極的に登用し、地域色のある学習・体験を実施中。



陶芸体験 陶芸家の話に聞き入る子供たち



絵画体験 地元の美しい海を巨大な紙に表現しました